

平成 28 年 11 月 4 日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社 ぱど
代 表 者 代表取締役社長 倉橋 泰
(コード番号 4833)
問合せ先責任者 専務取締役経営統括本部長 石川 雅夫
(TEL 03-6694-9810)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 13 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 29 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1 株当たり四半期純利益 |
|---|-------|------|------|------------------|--------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 3,500 | △80 | △80 | △90 | △16.39 |
| 今回修正予想（B） | 3,400 | △170 | △160 | △170 | △30.97 |
| 増減額（B－A） | △100 | △90 | △80 | △80 | |
| 増減率（%） | △2.9 | - | - | - | |
| （ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 28 年 3 月期第 2 四半期） | 3,661 | △228 | △229 | 5 | 1.04 |

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1 株当たり当期純利益 |
|-----------------------------|-------|-------|-------|-----------------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 7,600 | 100 | 90 | 60 | 10.93 |
| 今回修正予想（B） | 7,300 | 40 | 50 | 30 | 5.46 |
| 増減額（B－A） | △300 | △60 | △40 | △30 | |
| 増減率（%） | △3.9 | △60.0 | △44.4 | △50.0 | |
| （ご参考）前期実績 （平成 28 年 3 月期） | 7,539 | △175 | △179 | 45 | 8.34 |

平成 29 年 3 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

| | 売上高 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1 株当たり四半期純利益 |
|---|-------|------|------------------|--------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 3,200 | △90 | △100 | △18.22 |
| 今回修正予想（B） | 3,000 | △190 | △190 | △34.61 |
| 増減額（B－A） | △200 | △100 | △90 | |
| 増減率（%） | △6.3 | - | - | |
| （ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 28 年 3 月期第 2 四半期） | 3,232 | △252 | 178 | 32.50 |

平成 29 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

| | 売上高 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1 株当たり当期純利益 |
|-----------------------------|-------|--------|-----------------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 6,900 | 50 | 20 | 3.64 |
| 今回修正予想（B） | 6,500 | 0 | △10 | △1.82 |
| 増減額（B－A） | △400 | △50 | △30 | |
| 増減率（%） | △5.7 | △100.0 | - | |
| （ご参考）前期実績 （平成 28 年 3 月期） | 6,701 | △224 | 217 | 39.56 |

修正の理由

（個別業績予想）

売上計画達成に向けた取り組みを行ってまいりましたが、個人消費が本格回復に至らない中、競合他社との低価格競争及び他業種との顧客獲得競争の激化等の影響により、売上高、利益ともに当初計画を下回る結果となりました。

下半期につきましては、家庭版については、販促広告・地域情報に注力し媒体力の充実を図ってまいります。また、中期経営計画に基づき、折込領域については、新聞購読者が減少している中、引き続き新聞折込チラシからばどへ折り込むチラシサービスでの収益を拡大いたします。求人領域については、地元の主婦層をターゲットにした潜在労働力を掘り起こし収益を拡大します。また、労務費および経費の圧縮を継続することで利益の増加を図ってまいります。

（連結業績予想）

第 2 四半期（累計）においては個別業績予想の修正理由により、売上高、利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。通期の見通しにつきましては、個別業績予想の修正理由により親会社株主に帰属する当期純利益で 30 百万円を目指します。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上